



自動追尾アプリケーション 使用説明書

ご使用の前に必ずこの使用説明書をお読みください。

日本語

目次

はじめに.....	3
使う前に知っておいてください	3
追尾アプリでできること	3
本書の読みかた	3
動作環境	4
対応カメラ.....	4
自動追尾アプリケーション(Lite).....	4
アプリを起動／終了する.....	6
アプリを起動する	6
アプリの設定画面を開く	7
アプリを終了する	7
画面の構成	8
追尾実行画面.....	8
設定ウィザード	10
準備する.....	11
設定の流れを確認する.....	11
設定可能な領域	11
設定の流れ.....	13
自動追尾撮影の設定を一括で行う	14
Step1 パン／チルト可能な撮影範囲を設定する	14
Step2 初期位置を設定する	15
Step3 優先表示領域／画角固定領域を設定する	16
Step4 追尾対象を自動で選択する	17
Step5 構図を設定する.....	18
Step6 自動選択除外領域を設定する	19
Step7 追尾停止領域を設定する.....	20
Step8 構図アシストを設定する.....	21
Step9 顔登録追尾を設定する	24
Step10 カメラプリセット連動を設定する.....	26
自動追尾撮影の設定を個別に行う	27
撮影する.....	28
自動追尾撮影を開始する／終了する	28
自動追尾の開始／終了	28
自動追尾実行中に設定を調整する	29
追尾対象について	30
その他.....	31
トラブルシューティング	31
エラーメッセージ	33
商標文	34
第三者のソフトウェア.....	34

はじめに

この使用説明書は、自動追尾アプリケーション RA-AT001（以下、「自動追尾アプリ」または「アプリ」）の設定や操作方法について説明しています。ご使用前によくお読みになり、本アプリケーションを正しく利用してください。

使う前に知っておいてください

本アプリケーションは自動追尾アプリに対応したキャノン製リモートカメラ（以下、「カメラ」）専用です。インストールのしかたについては、ライセンスアクティベーションツールの使用説明書をご覧ください。

本アプリケーションは画像処理を使用して追尾対象を検出しますが、撮影環境（撮影設定、追尾対象の速度等）によっては、対象を誤検出したり、取り違えたり、ロスト（見失う）したりすることがあります。本アプリケーションは、追尾対象の誤検出やロスト時にオペレータによる補正作業ができる環境にてご使用ください。

本アプリケーションの使用により発生したいかなる結果についても、一切の責任を負いかねます。



重 要

- 本機能で登録した顔の画像・情報は、カメラに記録されます。カメラを譲渡や廃棄するときは、すべての登録情報を削除してください。なお、これら顔の画像・情報はカメラでのみ記録・処理され、キャノンに送信されることはありません。
- 本機能を使用する際には、個人情報保護の観点で十分に配慮し、顔の画像の登録前に本人（被写体）の同意を得ておくなど適用法令を遵守のうえでご使用ください。本機能の使用に伴う個人情報に関する問題その他一切の問題に関して、キャノンはいかなる責任も負いません。
- サムネイル画像はプライバシー情報を含む可能性があるため、取り扱いに十分注意してください。
- 必要に応じてHTTPS通信をご利用ください。

追尾アプリでできること

本アプリケーションは、追尾対象の動きに合わせて、パン／チルト／ズーム動作を自動で行うアプリケーションです。本アプリケーションでは主に次のことができます。

選択した対象を追尾しながらの自動撮影

- 追尾対象を自動で選択できる。
- 追尾対象の大きさに合わせて自動でズームできる。
- 追尾対象の動きに合わせてパン／チルト／ズームの速度を調整できる。

カメラの操作や機能については、カメラの使用説明書をご覧ください。また、カメラの初期設定は本アプリケーションを使用する前に行ってください。

お使いのカメラによって、対応していない機能や設定があります。詳細については、キャノンのホームページをご覧ください。

本書の読みかた

本書で使用するアイコンや表記の意味は次のとおりです。



重要事項や制限事項が書かれています。必ずお読みください。



操作の参考となることや補足説明が書かれています。

- 本書中の画面は、Windows 11 が動作するパソコンで表示されるものを使用しています。
- 本書で使用している作例写真はイメージです。

動作環境

本アプリケーションの動作環境については、カメラの使用説明書をご確認ください。

■ 対応カメラ

本製品のダウンロードページに記載される対応機種をご確認ください。

メモ

モバイル環境で使用するときは、画面サイズ10インチ以上、横向きの画面での使用を推奨します。

自動追尾アプリケーション(Lite)

カメラのファームウェアバージョンによっては、自動追尾アプリケーション(Lite)が標準搭載されています。自動追尾アプリケーション(Lite)はライセンスの認証なしに使用できます。制限されている機能については設定画面上で  が表示されます。すべての機能を使用する場合は、本アプリケーションのライセンスをご購入の上、ライセンス認証を行ってください。期間内でのお試し使用も可能です。その際は、お試しライセンスで認証を行ってください。認証のしかたについては、ライセンスアクティベーションツールの使用説明書をご覧ください。

設定値が制限される設定項目

以下の設定項目は設定値が制限されます。

追尾実行画面／設定ページ	設定項目	選択できる設定値
追尾実行画面／構図	表示サイズ	2、4

設定値が固定される設定項目

以下の設定項目は設定値が固定されます。

追尾実行画面／設定ページ	設定項目	固定される設定値
追尾実行画面	アプリ設定	1
	シルエット表示（単体対象）	On
	表示位置	画面中心のみ
	オートズーム	On
	追尾感度	9
	構図アシスト	オフ
	複数対象	オフ
	顔向き	オフ
	着席起立	オフ
	顔登録追尾	オフ
	初期化	－（不可）
全設定ページ	アプリ設定名	－（変更不可）
パン／チルト制限範囲	チルト動作固定	オフ
	撮影範囲指定	オフ
優先表示領域／画角固定領域	優先表示領域	オフ
	画角固定領域	オフ
顔登録追尾顔登録追尾オフ追尾対象自動選択	自動選択	On *
	追尾開始時間（秒）	0
	自動選択領域	オフ
	マニュアル操作後の追尾再開	On

追尾実行画面／設定ページ	設定項目	固定される設定値
構図	表示位置	画面中心のみ
	オートズーム	On
	パン／チルト停止領域	オフ
	追尾感度	9
自動選択除外領域	自動選択除外領域	オフ
構図アシスト	構図アシスト	オフ
	複数対象	オフ
	顔向き	オフ
	着席起立	オフ
カメラプリセット連動	アプリ設定	1
顔登録追尾	顔登録追尾	オフ

* 追尾対象の手動選択はできません。

マウス動作選択ボタン（P. 9）

設定ページ（P. 13）で利用できるマウス動作は以下のとおりです。

クリックセンタリング

- パン／チルト動作制限
- 初期位置
- 優先表示領域／画角固定領域
- 構図
- 自動選択除外領域
- 追尾停止領域
- 構図アシスト
- カメラプリセット連動
- 顔登録追尾

領域設定

- 追尾停止領域

アプリを起動／終了する

アプリを起動する

アプリの起動はカメラの設定ページから行います。管理者アカウントのみが行えます。

- 1 カメラの設定ページ >  システム > [システム] > [アドオン]を開く
- 2 [アドオンリスト]から起動したいアプリを選択する
- 3 [起動/停止] > [起動]をクリックする

選択したアプリが起動し、ステータスが「動作中」に変わり、「アドオンリスト」の「動作中」にチェックがつきます。

 メモ

[自動起動]を[On]にすると、カメラを立ち上げたときにアプリも自動的に起動されます。

アドオン

アドオンの管理

追加/更新

アドオンリスト

...

インストール

名前	動作中
Auto Tracking Application RA-AT001	✓

削除

空き容量

21024 KB (20.5 MB)

ロッキングコード

*1B0F6C81A215M

Auto Tracking Application RA-AT001

ベンダー

Canon Inc.

起動/停止

動作中

停止

バージョン

1.4.0

ビルド番号

0010

ライセンス

...

インポート

有効: お試しライセンス
- 2023/2/3

削除

アドオンのトップページ

開く

自動起動

On

ログ

表示

ダウンロード

アプリの設定画面を開く

アプリの設定画面はカメラの設定ページから開きます。

1 カメラの設定ページ > [📷 カメラ制御1] > [⋮ その他機能] > [アドオン]の[表示]をクリックする

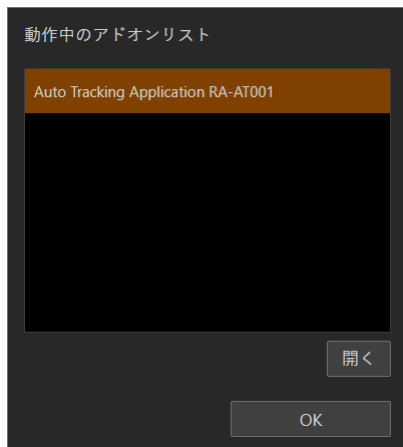
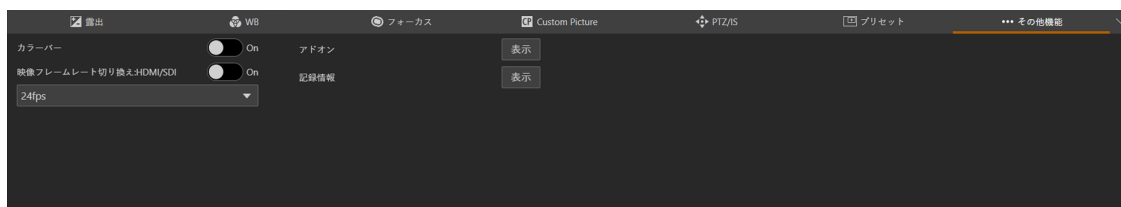
動作中のアドオンリストが表示されます。

2 [動作中のアドオンリスト]から起動したいアプリを選択し、[開く]をクリックする

本アプリの設定画面のウィンドウが表示されます。

📄 メモ

- 1つのカメラに対しては、同時にPTZ操作を有する複数のアプリの設定画面を開いて操作をしないでください。
- [表示]が選択できないときや、[動作中のアドオンリスト]に対象のアプリが表示されていないときは、管理者アカウントでアプリを起動してください（P. 6）。
- 管理者アカウントの場合、カメラの設定ページ > [⚙️ システム] > [システム] > [アドオン]の[アドオンリスト]から起動したいアプリを選択し、[アドオンのトップページ] > [開く]からも設定画面を開くことができます。
- 本機能を使用できるカメラアカウントは、管理者か、または [カメラ制御] と [映像配信] のユーザー権限を持つ登録ユーザー／一般ユーザーです。権限が付与されていない登録ユーザー／一般ユーザーでは本アプリにログインできず、顔登録追尾機能のサムネイル画像を閲覧できません。



アプリを終了する

アプリの終了はカメラの設定ページから行います。管理者アカウントのみが行えます。

1 カメラの設定ページ > [⚙️ システム] > [システム] > [アドオン]を開く

2 [アドオンリスト]から終了したいアプリを選択する

3 [起動/停止] > [停止]をクリックする

停止すると設定画面が閉じ、ステータスが[停止]に変わり、[アドオンリスト]の[動作中]からチェックが解除されます。

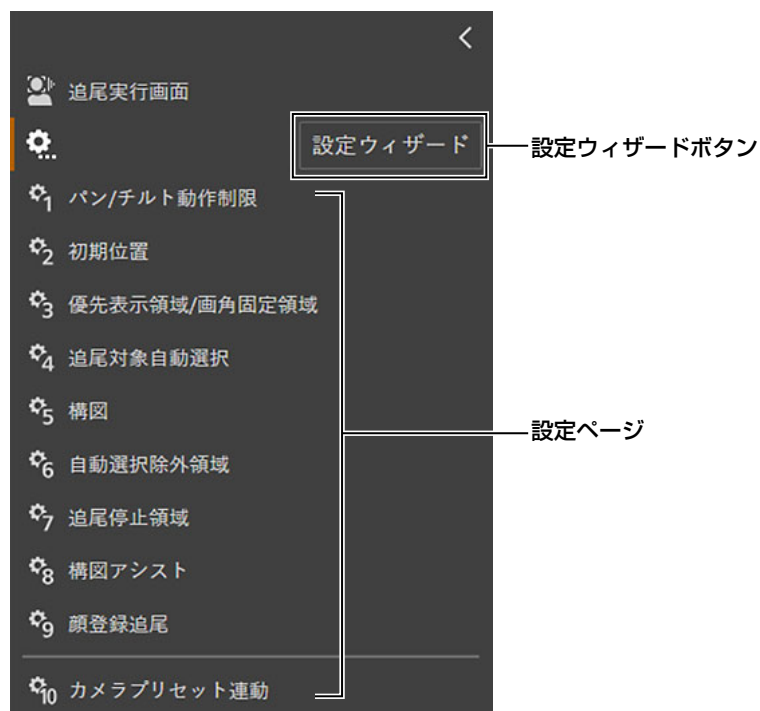
画面の構成

追尾実行画面



設定メニューボタン

設定メニューを開きます。追尾実行画面や設定ウィザード、各設定ページに移動できます。



アプリ設定選択ボタン

自動追尾の設定を登録するアプリ設定の番号を選択します。最大5つまで設定を保存できます。

マウス動作選択ボタン

映像表示部の左上にあるボタンをクリックすることで、映像をクリックした際の動作を切り換えることができます。以下の5つのモードがあり、設定項目に応じて使用します。なお、設定画面によって選択できるモードが異なります。

項目	動作
 クリックセンタリング	クリックした位置が画面中心となるようにカメラアングルを移動します。
 追尾対象選択	クリックした対象を追尾対象として指定します。
 シルエット操作	シルエットをドラッグすると、移動します。
 領域設定	映像表示部に表示されている領域の大きさや位置をドラッグして変更します。
 シルエット操作／領域設定	シルエット操作と領域設定を行えます。

初期位置表示ボタン

初期位置を表示します（P. 15）。

言語選択リスト

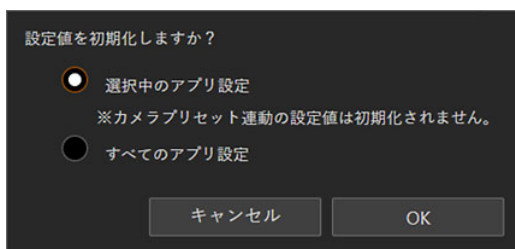
表示する言語を選択します。

アプリ情報

アプリの情報を確認できます。

初期化ボタン

自動追尾撮影の設定を初期化します。クリックすると、初期化する対象を選択中のアプリ設定かすべてのアプリ設定から選択できます。



メモ

[選択中のアプリ設定]を選択して初期化しても、カメラプリセット連動の設定値は初期化されません（P. 26）。

保存ボタン

追尾実行画面の設定を保存します。

設定ウィザード



アプリ設定名

アプリ設定を任意の名称に変更できます。入力できる文字数は40文字までです。

設定エリア

追尾動作の詳細設定を行うエリアです。

映像表示部

カメラの映像が表示されます。

パンスライダー

カメラアングルを左右に動かします。◀または▶ボタンで位置を微調整します。

チルトスライダー

カメラアングルを上下に動かします。▲または▼ボタンで位置を微調整します。

ズームスライダー

上方向に移動するとズームイン (望遠)、下方向に移動するとズームアウト (広角) します。
TまたはWボタンで位置を微調整します。

次へボタン

次の設定ウィザードに移動します。

前へボタン

前の設定ウィザードに移動します。

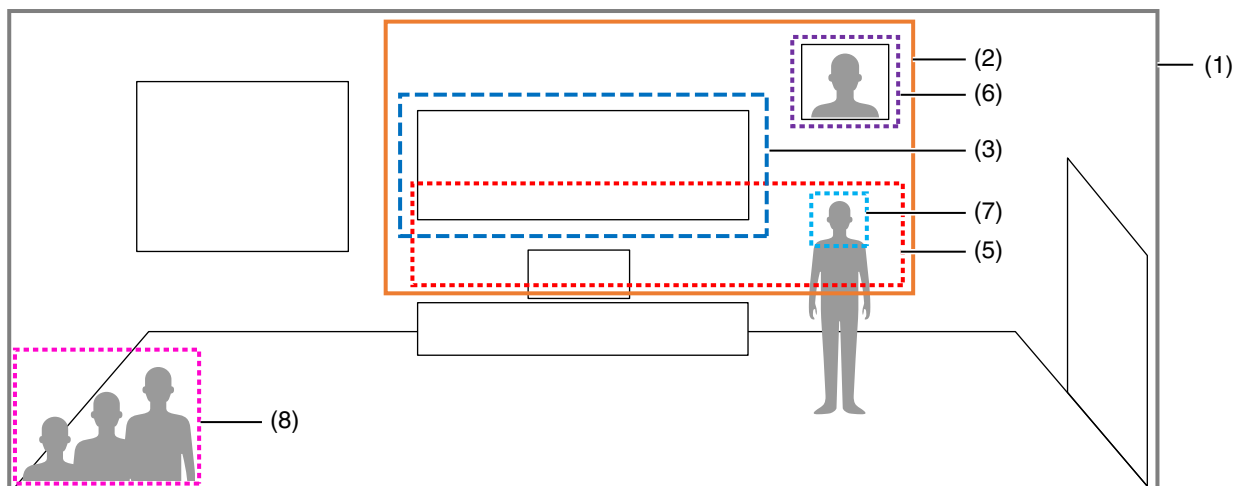
準備する

設定の流れを確認する

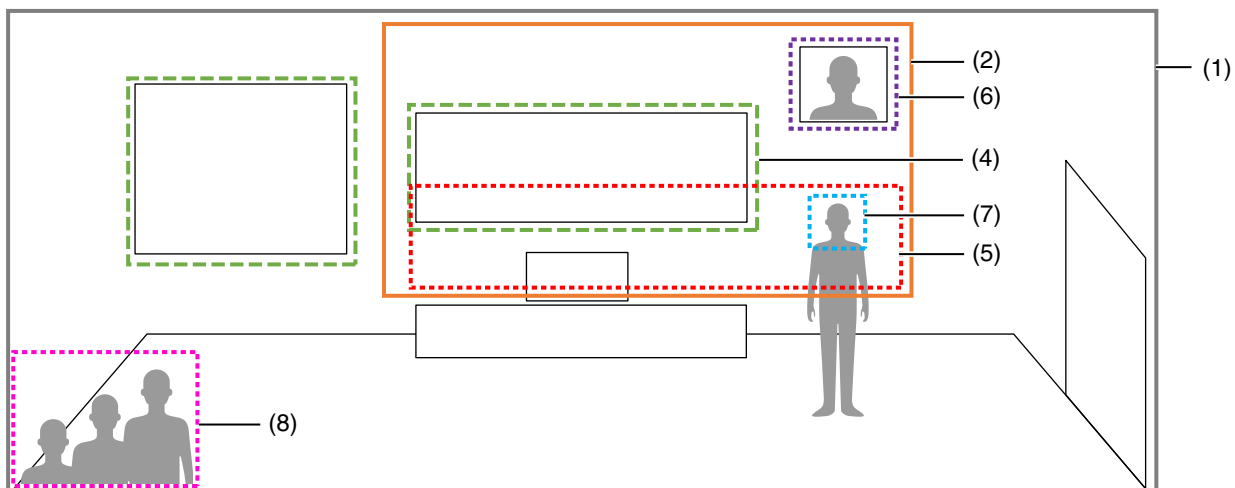
■ 設定可能な領域

自動追尾機能を設定するときに使用する領域について説明します。

優先表示領域を使用するとき



画角固定領域を使用するとき



□ : 撮影範囲

□ : 初期位置

□ : 優先表示領域

□ : 画角固定領域

□ : 自動選択領域

□ : 自動選択除外領域

□ : パン／チルト停止領域

□ : 追尾停止領域

(1) **撮影範囲**

リモートカメラのパン／チルト動作により撮影可能な領域（P. 14）

(2) **初期位置**

自動追尾開始時の初期位置（P. 15）

(3) **優先表示領域**

優先して表示したい領域（黒板、ホワイトボードなど）（P. 16）

(4) **画角固定領域**

追尾対象が動いていても画角を固定する領域（P. 16）

(5) **自動選択領域**

自動的に追尾対象を探索する領域（P. 17）

(6) **自動選択除外領域**

追尾対象を探索しない領域（ポスター、写真など）（P. 19）

(7) **パン／チルト停止領域**

追尾対象が内側にいる場合、パン／チルト動作を行わない領域（P. 18）

(8) **追尾停止領域**

追尾撮影中は追尾を停止し、追尾停止中は追尾対象の探索や選択をしない領域（P. 20）

 重 要

- 優先表示領域と画角固定領域は同時に設定できません。
- 初期位置は撮影範囲内に設定してください。
- 画角固定領域は撮影範囲内に設定してください。
- 優先表示領域と自動選択領域は初期位置内に設定されます。
- 自動選択領域と自動選択除外領域が重なった場合、自動選択除外領域が優先されます。
- 追尾停止領域と画角固定領域／自動選択領域／自動選択除外領域が重なった場合、追尾停止領域が優先されます。
- 撮影時の状況によっては、以下の現象が起きることがあります。
 - 撮影範囲の外側を撮影してしまう
 - 優先表示領域の画角から見切れて撮影してしまう
 - 画角固定領域からずれて撮影してしまう
 - 自動選択除外領域や追尾停止領域の領域内に存在する人物を自動選択してしまう
 - 追尾対象が追尾停止領域内でも追尾を継続してしまう

■ 設定の流れ

自動追尾撮影の設定は設定ウィザードで行います。使用開始前に、撮影状況や目的に合わせて設定してください。設定は次のステップで行います。設定メニューボタンから各Stepの設定ページに移動して、個別で設定することもできます（P. 27）。

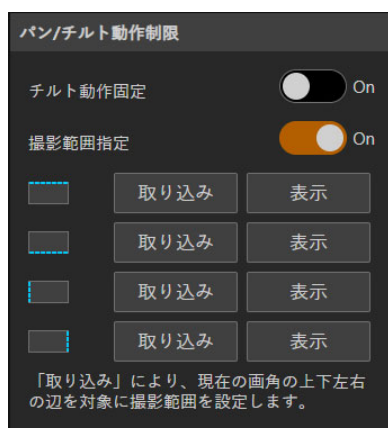


自動追尾撮影の設定を一括で行う

各Stepでの設定項目を説明します。各設定ウィザードにおいて、[次へ]/[完了]ボタンをクリックしたときに設定が保存されます。クリックする前にアプリを停止したり、カメラの電源を落としたりすると変更していた設定は保存されません。

■ Step1 パン／チルト可能な撮影範囲を設定する

カメラがパン／チルト可能な画角（撮影範囲）を設定します。



1 設定エリアの各項目を設定する

[チルト動作固定]

[On]にすると、追尾中にチルト動作を行いません。

[撮影範囲指定]

撮影範囲の上下左右端をそれぞれ指定します。講義の撮影において、生徒など映したくない被写体があるときは、それらを含まない領域を撮影範囲に設定してください。

- (1) パン／チルト／ズームスライダーを使って、設定したい画角を表示する
- (2) 設定したい辺の[取り込み]をクリックする
 - [チルト動作固定]を[On]にしているときは、上端、下端は設定できません。
- (3) 操作(1)～(2)を繰り返して、撮影範囲の4辺を設定する



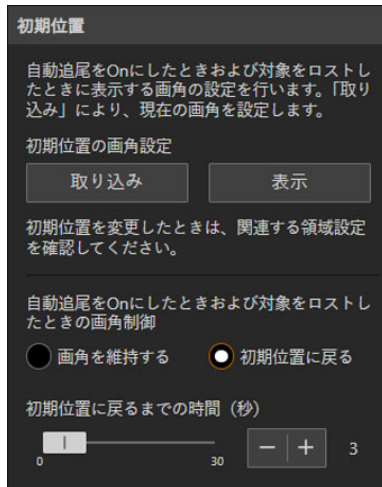
メモ

[表示]をクリックすると、設定した辺の画角を表示します。

2 [次へ]をクリックする

■ Step2 初期位置を設定する

追尾開始時の画角（初期位置）を設定します。初期位置は、追尾撮影中に追尾対象をロストしたときの移動先の画角としても使用します。



1 初期位置を設定する

パン／チルト／ズームスライダーで、設定したい画角を表示し、[取り込み]をクリックして設定してください。

メモ

- 初期位置は、自動追尾を[On]にした際および追尾対象をロストした際、いったん引いた画角で対象の再検出を待つための領域です。撮影領域内の全体を見渡せる領域を設定してください。
- [表示]をクリックすると、現在設定されている画角を表示します。

2 [自動追尾をOnにしたときおよび対象をロストしたときの画角制御]を選択する

[画角を維持する]

それまでの画角を維持します。講義映像の撮影シーンなどにおいて、追尾対象が会場から退出したり、講義中に後ろを向くときなど、対象をロストしたときの画角を維持したいときに使用します。

[初期位置に戻る]

一定時間経過後、初期位置の画角に戻ります。

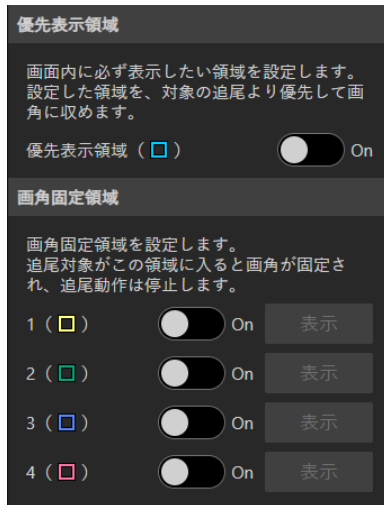
3 [初期位置に戻るまでの時間(秒)]を設定する

操作2で[初期位置に戻る]を選んだときは、対象のロスト後、初期位置に戻るまでの待機時間を設定します。

4 [次へ]をクリックする

Step3 優先表示領域／画角固定領域を設定する

追尾中に優先的に撮影する領域（優先表示領域）や追尾対象が入ったときに画角を固定したい領域（画角固定領域）を設定します。優先表示領域と画角固定領域は同時には設定できません。画角固定領域は4個まで設定できます。



1 優先表示領域を設定する

優先表示領域は、対象の追尾よりも優先して画角に収める領域です。黒板やスクリーンなど、常に撮影したい領域があるときは、優先表示領域を使用してください。

- (1) [優先表示領域]を[On]にする
 - 映像表示部に枠が表示されます。
- (2) 枠の位置とサイズを調整する
 - 枠の内部をドラッグすると枠の位置を変更できます。
 - 枠の外周をドラッグすると枠サイズを変更できます。

2 画角固定領域を設定する

画角固定領域は、対象が領域内にいるときに画角を動かさず撮影する領域です。黒板の前や講演台など、特定の位置から離れる場合のみ追尾を行いたいときは、画角固定領域を使用してください。

- (1) [画角固定領域]の[1]～[4]のいずれかを[On]にする
 - 映像表示部に[On]にした画角固定領域に対応した色の枠が表示されます。
- (2) 枠の位置とサイズを調整する
 - 枠の位置やサイズを調整するときは、マウス動作選択ボタンを[領域設定]にして操作します。
 - 画角を変更するときは、パン／チルト／ズームスライダーやマウス動作選択ボタンを[クリックセンターリング]にして操作します。
- (3) 複数の画角固定領域を設定する場合は、操作(1)～(2)を繰り返す

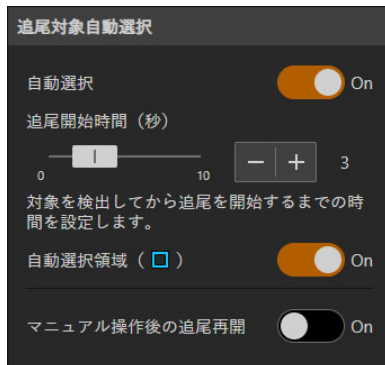
メモ

- 画角固定領域は撮影範囲内に設定します。
- [表示]をクリックすると、現在設定されている画角を表示します。

3 [次へ]をクリックする

■ Step4 追尾対象を自動で選択する

追尾対象を自動的に選択して、追尾を開始するときの設定を行います。



1 [自動選択]を選択する

[On]にすると、自動選択領域内に入った人物を自動的に追尾対象にして、追尾を開始します。

2 [追尾開始時間 (秒)]を設定する

自動選択領域内に存在する人物を追尾対象に決定するまでの時間を設定します。[自動選択]が[On]で[顔登録追尾]をオフにしたときのみ選択できます。

3 [自動選択領域]を設定する

- (1) [自動選択領域]を[On]にする
 - 映像表示部に枠が表示されます。
- (2) 枠の位置とサイズを調整する



メモ

- [自動選択]を[On]にしたときのみ選択できます。
- [自動選択]を[On]、[自動選択領域]をオフにしたときは、撮影している画角全体を対象に自動選択します。

4 [マニュアル操作後の追尾再開]を選択する

リモートカメラコントロールアプリなどの本アプリ以外の機能でパン／チルト／ズーム操作が行われた場合、自動追尾によるパン／チルト／ズーム制御は中止*されます。[On]にすると、自動で追尾を再開します。

* 条件によっては中止しないことがあります。

5 [次へ]をクリックする

Step5 構図を設定する

追尾対象の表示位置や、ズーム時の大きさ、パン／チルト停止領域、追尾感度を設定します。



1 [表示位置]を設定する

画面上にシルエットが表示されます。シルエットをドラッグして追尾対象の画面内での表示位置を設定します。

メモ

- 追尾対象をロストしやすいため、画面端には設定できません。
- 優先表示領域を設定しているときは、優先表示領域が優先されます。

2 [表示サイズ]を設定する

[On]にすると、追尾対象の撮影サイズを設定するシルエットが表示されます。シルエットの顔の大きさが撮影時の追尾対象の顔の大きさの目安になります。撮影したい大きさに合わせて、サイズを調整してください。

- [オートズーム]を[On]にすると、指定した撮影サイズを維持するために、追尾中にズームを行います。

メモ

[チルト動作固定] (P. 14) が[On]の場合、ズームインによって追尾対象が画面外に外れてしまう場合には、それ以上ズームインされません。

3 [パン／チルト停止領域]を設定する

[On]にすると、映像表示部に枠が表示されます。パン／チルト動作を行わない領域を設定できます。設定した領域に追尾対象がいる限り、パン／チルト動作を行いません。講師などの小さな動きに映像を連動させたくないときに設定します。パン／チルト動作を俊敏にしたいときは領域を小さくしてください。

オフにすると、[追尾感度]に合わせて追尾動作を行います。

メモ

- [パン／チルト停止領域]の中心位置は[表示位置]で設定したシルエットの顔の中心と同じ位置になります。
- [表示サイズ]を変更したときは、追尾対象が[パン／チルト停止領域]に収まるように領域の大きさを見直してください。
- 追尾対象の細かな動きに合わせてパン／チルト動作をすると映像が見づらくなることがあります。
- マウス動作選択ボタンで[シルエット操作/領域設定]を選択したときは、[パン／チルト停止領域]をオフにするとシルエット操作、[On]にすると領域設定を行います。

4 [追尾感度]を調整する

追尾対象を追尾する感度を調整します。値が大きくなるにつれて、俊敏な追尾動作を行います。

メモ

- 次のような場合は、意図しない人物を追尾することがあります。
 - 現在の追尾対象から離れた位置の人物を、追尾対象として選択したとき
 - 追尾開始時に、シルエット位置から離れた人物を追尾対象として選択したとき
 - 追尾中に、シルエット位置を離れた位置に変更したとき[追尾感度]を[1]に設定すると、意図した対象に変更しやすくなります。
- カメラを機材に載せてゆっくりと移動させて撮影する場合は、[追尾感度]を[1]に、[パン／チルト停止領域]を最小サイズに設定してください。

5 [次へ]をクリックする

Step6 自動選択除外領域を設定する

追尾対象を自動的に選択する場合、追尾対象を検出たくない領域（自動選択除外領域）を設定します。追尾対象自動選択領域内に人物が写ったポスターなどがあるときに使用します。自動選択除外領域は4個まで設定できます。



1 自動選択除外領域を設定する

- (1) [自動選択除外領域]の[1]～[4]のいずれかを[On]にする
 - 映像表示部に[On]にした自動選択除外領域に対応する色の枠が表示されます。
- (2) 枠の位置とサイズを調整する
 - 枠の位置やサイズを調整するときは、マウス動作選択ボタンを[領域設定]にして操作します。
 - 画角を変更するときは、パン／チルト／ズームスライダーやマウス動作選択ボタンを[クリックセンタリング]にして操作します。
- (3) 設定したい領域の数だけ繰り返す

メモ

[表示]をクリックすると、現在設定されている画角を表示します。

2 [次へ]をクリックする

■ Step7 追尾停止領域を設定する

追尾停止領域を設定します。追尾対象が追尾停止領域に入ると追尾を停止します。追尾停止中は、追尾停止領域内で追尾対象の探索や選択は行いません。撮影範囲内に次の話者が待機していて交代で壇上にあがるときなどに使用します。追尾停止領域は4個まで設定できます。



1 追尾停止領域を設定する

(1) [追尾停止領域]の[1]～[4]のいずれかを[On]にする

- 映像表示部に[On]にした追尾停止領域に対応する色の枠が表示されます。

(2) 枠の位置とサイズを調整する

- 枠の位置やサイズを調整するときは、マウス動作選択ボタンを[ 領域設定]にして操作します。
- 画角を変更するときは、パン／チルト／ズームスライダーやマウス動作選択ボタンを[ クリックセンターリング]にして操作します。

(3) 設定したい領域の数だけ繰り返す

メモ

[表示]をクリックすると、現在設定されている画角を表示します。

2 [次へ]をクリックする

■ Step8 構図アシストを設定する

[複数対象]、[顔向き]、[着席起立]の3つの構図アシスト機能をそれぞれ設定できます。
構図アシスト機能を設定しても、撮影範囲や領域指定が優先されます。

1 【構図アシスト】を選択する

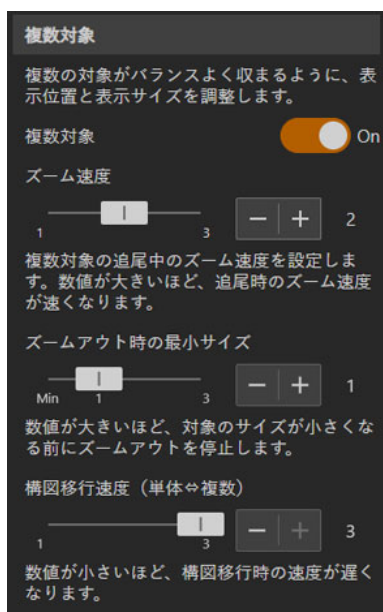
[On]にすると、構図アシスト機能をそれぞれ設定できます。

2 構図アシストを設定する

◆ 複数対象を設定する

ステージや教壇上などで複数人が画角に入出入りするときに、画角内の撮影対象が2～4人程度に増減するときに使用します。

[On]にすると、画面内に追尾対象（メイン）以外の人物（サブ）が存在するときに、メインとその近くにいるサブが画面内におさまる構図で撮影を行います。撮影環境（撮影サイズ、追尾対象の移動速度や人数）によっては、メインをロストしたり、メインとサブを取り違えたりすることがあります。



【複数対象】

[On]にすると、[複数対象]の機能を設定できます。

【ズーム速度】

複数の対象を追尾中のズーム速度を設定します。数値が大きいほど、ズーム速度が速くなります。

【ズームアウト時の最小サイズ】

数値が大きいほど、対象のサイズが小さくなる前にズームアウトを停止します。

【構図移行速度（単体⇄複数）】

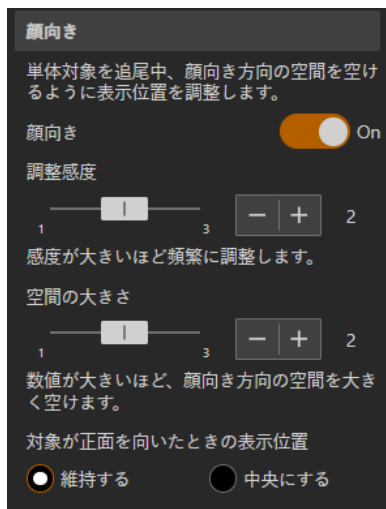
数値が小さいほど、構図移行時の速度が遅くなります。

🗨 メモ

- 複数対象の追尾実行中の画面表示は、自動追尾を開始する(P. 28)をご確認ください。
- メインとサブの位置関係が以下のとき、サブが追尾対象からはずれて画角が変わることがあります。
 - 画面端部にメインが移動したとき
 - 画面内でメインとサブが離れすぎたとき
- 画面内にメインのみが存在する場合は、追尾中の構図設定（P. 18）に従います。
- 撮影範囲（P. 14）や領域指定(P. 16)に注意してください。
 - 撮影範囲、優先表示領域を優先します。
 - メインが画角固定領域に入ると、画角を固定します。
 - 追尾停止領域にメインが入ると追尾を停止します。この領域に入ったサブは[複数対象]の対象から除外されます。

◆ 顔向きを設定する

[On]にすると、単体対象を追尾中、顔向き方向の空間を空けるように表示位置を調整します。追尾対象の顔が検出されていないときは、動作しない場合があります。顔が検出されない例に該当していないか、カメラの使用説明書をご確認ください。



【顔向き】

[On]にすると、[顔向き]の機能を設定できます。

【調整感度】

値が大きいほど、頻繁に調整します。

【空間の大きさ】

値が大きいほど、顔向き方向の空間を大きく空けます。

【対象が正面を向いたときの表示位置】

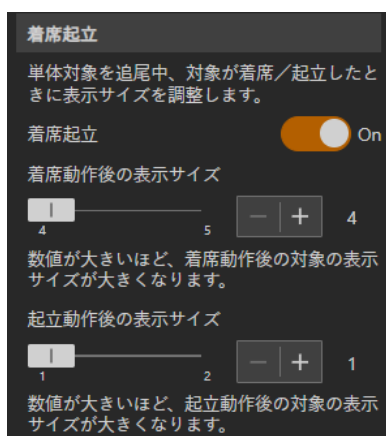
[維持する]／[中央にする]のどちらかを選択します。

☞ メモ

- 追尾対象の顔の向きによっては[顔向き]が動作しない場合があります。顔を大きく動かすと改善することがあります。
- 撮影範囲（P. 14）や領域指定(P. 16)に注意してください。
 - － 撮影範囲、優先表示領域を優先します。
 - － 画角固定領域、追尾停止領域内では[顔向き]は動作しません。

◆ 着席起立を設定する

[On]にすると、単体対象を追尾中、対象が着席／起立したときの表示サイズを調整できます。追尾対象が着席したときは被写体を大きく映すように、起立したときは追尾対象を小さく映すように表示サイズを調整してください。



【着席起立】

[On]にすると、[着席起立]の機能を設定できます。

【着席動作後の表示サイズ】

追尾対象が着席したときの表示サイズを調整します。数値が大きいほど、表示サイズも大きくなります。

【起立動作後の表示サイズ】

追尾対象が起立したときの表示サイズを調整します。数値が大きいほど、表示サイズも大きくなります。

メモ

- 撮影範囲やチルト動作の設定（P. 14）、領域指定(P. 16)に注意してください。
 - 撮影範囲、優先表示領域を優先します。
 - [チルト動作固定]が[On]のとき[着席起立]は動作しません。
 - 画角固定領域、追尾停止領域内では[着席起立]は動作しません。
- 以下の設定のときは、[着席起立]が動作しないことがあります。
 - [パン/チルト停止領域]が[On]のとき
 - [表示位置]が画面上部に設定されているとき
- 以下の場合、[着席起立]が意図しない動作になることがあります。
 - [表示位置]が画面上部に設定されているとき
 - 着席起立の動作をとまわず、追尾対象の顔の位置が上下するとき
- [着席起立]を[On]にすると、構図の設定（P. 18）が変更されます。
 - [表示サイズ]が[On]になり、[起立動作後の表示サイズ]と同じ設定値になります。
 - [オートズーム]が[On]になります。

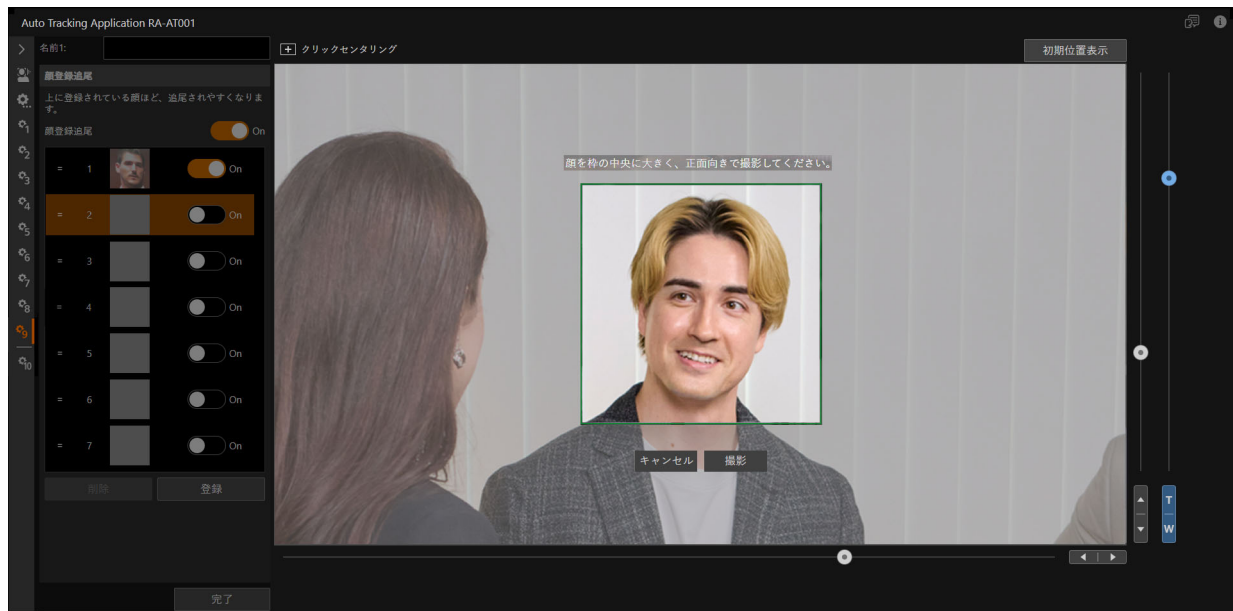
3 [次へ]をクリックする

■ Step9 顔登録追尾を設定する

顔登録追尾が有効の場合、顔を登録している人物の中から追尾対象を自動選択します。

追尾したい人物の顔を、最大7名まで事前に登録できます。登録した顔について、追尾に使用するかどうかと追尾の優先順位を設定できます。

顔登録追尾を使用するときは、被写体が表示サイズ1のシルエット(P. 18)より大きく写る程度の画角で追尾開始時の画角（初期位置）を設定してください(P. 15)。登録した顔を検知しにくい場合は、被写体の顔の大きさ（こめかみ間）が、表示サイズ1のシルエットの顔部分より大きく写るように調整してください。



1 顔を登録する

- (1) 登録したい番号（以下、「顔番号」）を選択し、[登録]ボタンをクリックする
 - 設定画面に登録枠が表示されます。
- (2) 登録したい人物の顔を、枠の中央に正面向きで大きく映し、登録枠が緑色になったら[撮影]ボタンをクリックする
 - 登録が完了すると、顔番号の横にサムネイル画像が表示されます。

2 顔登録追尾を有効にする

[On]にすると、顔登録追尾機能が有効になります。

3 登録した顔を検出するかどうかを切り換える

登録した顔を[On]にすると、登録した顔を自動選択対象にします。

4 登録者の優先順位を設定／変更する

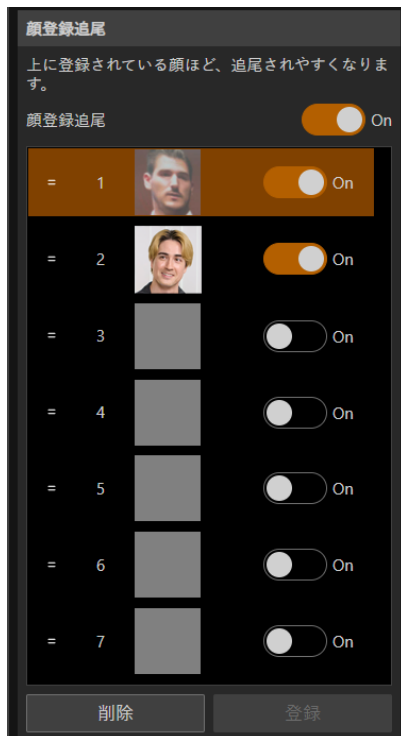
顔番号の左にある  アイコンをドラッグし、任意の位置でドロップすることにより、登録した顔の優先順位を変更します。同時に複数の登録した顔を検出した場合には、より上に表示されている顔を追尾対象として選択します。

5 [次へ]をクリックする

登録した顔を削除する

削除したい顔番号を選択して[削除]ボタンをクリックし、[OK]をクリックします。

- 削除後はサムネイル画像も含めて登録情報が削除されます。



メモ

- 顔登録追尾が有効の場合、顔を登録していない人物は、追尾対象として自動選択されません。追尾ロスト後も同様です。
- 顔を登録した人物を自動選択したあとに、優先順位の高い人物が画角に入っても、追尾対象は変更されません。
- 顔の登録／削除処理中にカメラの設定ページを操作すると、処理が正しく行われないことがあります。その場合は、再度登録／削除してください。
- 登録した顔などの情報は、カメラの設定ページの[システム] > [システム] > [アドオン]で[初期設定に戻す]を実行する、またはカメラ本体のRESETスイッチを押してカメラ本体を初期化すると、完全に削除されます。
- 撮影時の状況にできるだけ近い状態で、顔を登録してください（メガネの有無、カメラから見た被写体の角度など）。
- 顔が登録できない、登録した顔が検出できない主な例は、次のとおりです。
 - 正面を向いていないとき
 - 顔が画面全体に対して小さい、大きい、暗い、または明るいとき
 - 顔の一部が太い枠の眼鏡、サングラス、マスク、または前髪などで隠れているとき
 - 顔の一部に影があるとき
 - 画面上に顔の一部しか映っていないとき
 - 登録時から顔や表情が極端に変化しているとき（目を閉じている、口を開けている、笑っている、など）
- 登録した顔が検出されにくい場合、登録した顔を削除してから、再度登録を行ってください。

■ Step10 カメラプリセット連動を設定する

カメラのプリセットを実行したあとの自動追尾の動作について設定します。プリセットごとに設定できます。



1 【カメラプリセット連動】を選択する

2 各プリセットの自動追尾動作を設定する

[自動追尾]を[On]にすると、プリセットを実行したあとに自動追尾を開始します。自動追尾の設定は選択した[アプリ設定]に切り換わります。

[Off]にすると、プリセット動作の開始時に自動追尾を終了します。

メモ

[On]と[Off]のいずれも選択していない場合は、本アプリの[マニュアル操作後の追尾再開] (P. 17) の設定に従って動作します。

3 [完了]をクリックする

設定値の初期化

[初期化]ボタンをクリックすると、カメラプリセット連動の設定を初期化します。

カメラプリセットの実行

[表示]ボタンをクリックすると、選択しているカメラのプリセットを実行できます。

自動追尾撮影の設定を個別に行う

各Stepの設定ページを個別に設定することもできます。一部の設定を変更したいときに使用してください。個別設定を行うときは、追尾実行画面や別の設定ページに移動したとき、[完了]ボタンをクリックしたときに設定が保存されます。設定を保存する前にアプリを停止したり、カメラの電源を落としたりすると変更していた設定は保存されません。

1 設定メニューを開き、 ~ をクリックして設定ページを開く (P. 8)

2 設定を変更する

設定項目はウィザード形式の設定項目と同じです。

3 必要に応じて、他の設定ページを開き設定を変更する

4 [完了]をクリックする

追尾実行画面の[自動追尾]が[On]となり、自動追尾が開始されます。



メモ

設定ページから初期位置を変更したときは、初期位置の領域内に設定される領域（優先表示領域、自動選択領域）を再設定してください (P. 11)。

撮影する

自動追尾撮影を開始する／終了する

■ 自動追尾の開始／終了



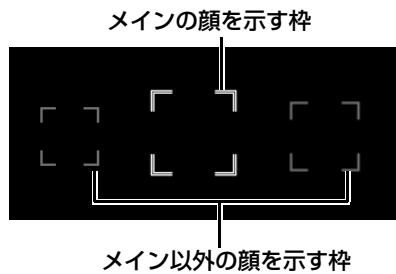
自動追尾を開始する

アプリ設定選択ボタンで使用するアプリ設定を選んで、[自動追尾]を[On]にすると、自動追尾が開始されます。

- [自動選択] (P. 17) がオフのときは、手動で追尾対象（単体またはメイン）を選択します。
- 自動追尾が開始されると、[状態]のアイコンが変化します。[状態]は以下の5つがあります。

状態	意味
対象未選択	追尾対象が未選択
対象探索中	追尾対象を探索中
追尾中	追尾撮影中
対象ロスト	追尾対象を見失っている
画角固定中	画角を固定している

- 自動追尾が開始されると人物の顔に枠が表示されます。



自動追尾を終了する

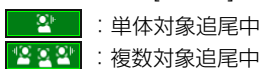
[自動追尾]をオフにする。

メモ

カメラ側で以下の操作を行ったときは、[初期化]をクリックしてすべての領域を初期化したあと、再度領域を設定してください。

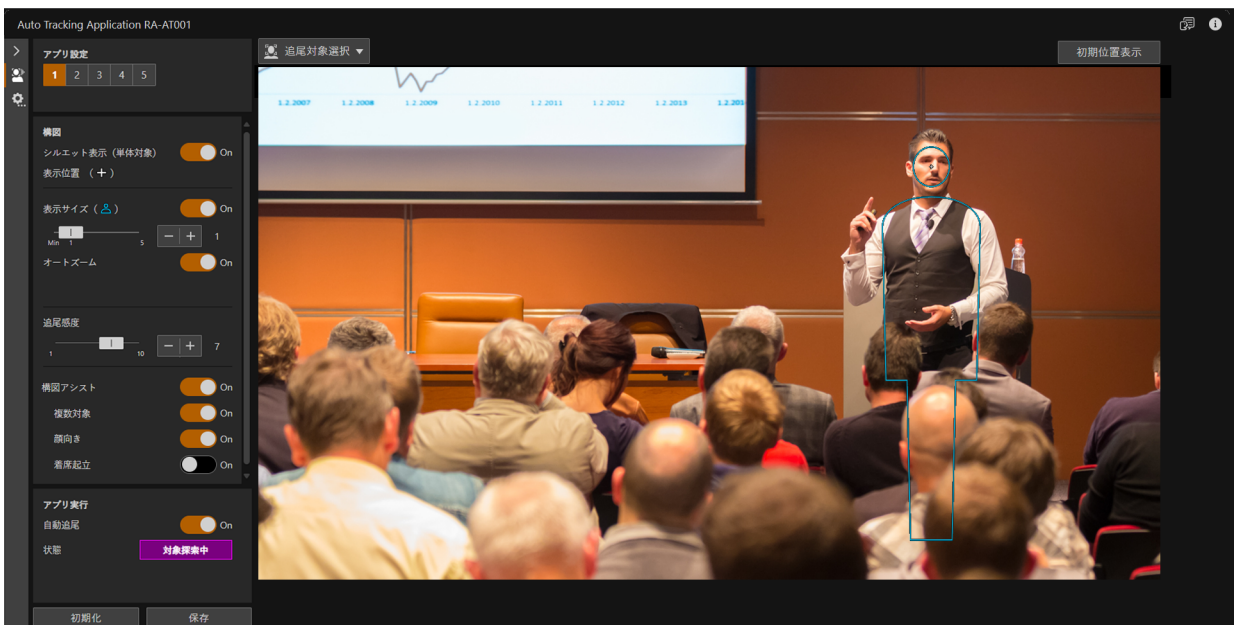
- [デジタルテレコン]の焦点距離の倍率を変更したとき
- [映像反転]の設定を変更したとき

自動追尾の状態が[追尾中]および[画角固定中]のとき、映像表示部の上部に次のようなアイコンが表示されます。



自動追尾実行中に設定を調整する

自動追尾中に調整できる項目が設定エリアに表示されます。[シルエット表示 (単体対象)]以外の設定項目は (P. 18) を参照してください。



[シルエット表示 (単体対象)]

[On]にすると、追尾対象のシルエットを表示します。シルエットをドラッグして、追尾対象を表示する位置を調整できます。

重要

追尾実行中に変更した設定は、自動追尾アプリを停止したり、カメラの電源を落とした場合には保存されません。設定を保存したい場合は、[保存]ボタン*をクリックしてください。

* [シルエット表示 (単体対象)]の設定は保存されません。

メモ

映像表示部を確認しながら少しずつ調整してください。[表示位置]や[表示サイズ]、[追尾感度]を大きく変更すると追尾対象をロスすることがあります。

■ 追尾対象について

カメラからの距離が約3～30 m*までの追尾対象を追尾できます。

* 距離は目安です。撮影環境（撮影サイズ、追尾対象の移動速度）により異なります。

メモ

カメラ本体のズーム性能により、[表示サイズ]で設定している大きさに調整できない場合があります。

トラブルシューティング

販売店やお客様相談センターに連絡する前に、次のことを確認してください。



メモ

- カメラ本体やコントローラーなどのトラブルシューティングについては、各使用説明書を参照してください。
- お使いのカメラによって、対応していない機能や設定があります。

問題	対処方法
アプリが起動しない	- ライセンスが正しく認証されているか確認してください。 - カメラ本体の日時が正しいか確認してください。
アプリが開かない	アプリを起動しているか確認してください。
アプリを起動しても操作できない	登録ユーザーと一般ユーザーは、[カメラ制御]と[映像配信]の権限が付与されていないと操作できません。カメラ側の設定ページから権限を付与してください。
追尾対象が自動で選択されない	[自動選択]がオフになっている。[On]に切り換えるか、手動で選択してください。 [自動選択領域]の設定を確認し、領域が狭い場合は設定を見直してください。
追尾対象の移動に追従できない 追尾対象を取り違える [構図アシスト]の[複数対象]が[On]のときに、メインをロストしたり、メインとサブを取り違えたりする	- 撮影環境（撮影サイズ、追尾対象の移動速度や人数）によっては追尾対象をロストしたり、取り違えたりすることがあります。以下の設定を見直すと改善する場合があります。 – [表示サイズ]の設定値が大きすぎるとき – [追尾感度]の設定値が小さすぎるとき – [パン／チルト停止領域]の設定領域が広すぎるとき – [表示位置]を画面端部に設定しているとき – [優先表示領域]から離れすぎたとき - 追尾対象としたい人物の位置や移動範囲を[追尾停止領域]に設定することで取り違えが改善することがあります。
黒板／スクリーンなど常時画角に入れたいエリアが画角から外れる	常時画角に入れたいエリアを[優先表示領域]もしくは[画角固定領域]に設定してください。
自動追尾中に手動でパン／チルト／ズーム操作を行うと、追尾が停止したままになる	[マニュアル操作後の追尾再開]がオフになっています。[On]に切り換えてください。 - 追尾対象を手動で選択して自動追尾を再開してください。
追尾対象が正しく検出されない	- カメラ本体の使用説明書の顔が検出されない例に該当していないかご確認ください。 「登録した顔が検出できない主な例」（P. 25）に該当していないかご確認ください。 - 初期位置の画角やカメラプリセット位置の画角で追尾対象が小さすぎる可能性があります。追尾対象を大きく映るようにすると改善することがあります。 - ポスターや複数人が[自動選択領域]にいると取り違える可能性があります。[自動選択除外領域]の設定を確認し、追尾対象を特定できるようにしてください。撮影状況により回避が難しい場合は、オペレータによる補正作業ができる環境にてご使用ください。
追尾対象を選択したとき、または追尾中にシルエット位置を変更したとき、異なる人物が追尾される	「意図しない人物を追尾することがある」（P. 19）に該当する操作が行われた可能性があります。[追尾感度]の値が大きいと周囲の人物にも反応しやすくなります。[追尾感度]を[1]に設定してください。
暗い撮影環境で顔が検出されない	カメラ側の設定ページにて[顔検出AE]を有効にすることで改善することがあります。

問題	対処方法
追尾対象が後ろを向いているときに正しく検出されない	- 後ろ向きの追尾対象を追尾可能な機種の場合、大きく映るようにすると改善することがあります。対応機種については、本アプリのダウンロードページをご覧ください。 - オペレータによる補正作業ができる環境にてご使用ください。
追尾対象が後ろを向いたときに、追尾対象をロストし画角が変わる	- 以下の設定を確認してください (P. 15)。 – [自動追尾をOnにしたときおよび対象をロストしたときの画角制御] – [初期位置に戻るまでの時間 (秒)]
追尾中の動作が重く、反応が悪い	- ネットワークの通信状態を確認してください。 - 以下の場合、追尾中の動作が重くなることがあります。設定を見直してください。 – [追尾感度]の設定値が小さすぎるとき – [パン／チルト停止領域]が大きすぎるとき
カメラが細かく追尾しすぎる	- 以下の場合、細かく追尾しすぎてしまうことがあります。設定を見直してください。 – [表示サイズ]の設定値が大きすぎるとき – [追尾感度]の設定値が大きすぎるとき – [パン／チルト停止領域]が小さすぎるとき - 追尾対象を大きく撮影しているときは[追尾感度]を小さくしてください。 - ズーム動作が不要なときは[オートズーム]をオフにしてください。 - 追尾対象が黒板の前や講演台など、特定の位置から離れる場合のみ追尾を行いたいときは、[画角固定領域]を使用してください。 [構図アシスト]の[複数対象]を[On]にしているときは、以下の設定を見直してください。 – [ズーム速度]の設定値が大きすぎるとき – [表示サイズ]の設定値が大きく、[ズームアウト時の最小サイズ]の設定値が小さいとき
画面に表示される設定項目が不足している	使用環境によっては、すべての設定項目が表示されないことがあります。
[追尾中]が表示されているのにパン／チルト／ズーム動作が行われない	- 以下の場合、パン／チルト／ズーム動作が行われません。 – 優先表示領域が画角の端付近にあるとき – 画角固定領域内に人物がいるとき – 撮影している画角が撮影範囲の端付近のとき – [マニュアル操作後の追尾再開]が[On]で、追尾中に他機能からパン／チルト／ズーム操作されているとき – 追尾対象の[自動選択]がオフで、追尾対象を手動で指定していないとき
追尾対象をロストして初期位置に戻った場合に、[自動選択]が[On]でも追尾対象が検出されない	初期位置の画角が広い場合、追尾対象が検出されていない可能性があります。初期位置の画角を見直してください。
[構図アシスト]の[複数対象]を[On]にしているときに、サブが追尾対象から外れやすい	- 以下の場合、サブが追尾対象から外れることがあります。設定を見直してください。 – [ズーム速度]の設定値が小さすぎるとき – [ズームアウト時の最小サイズ]の設定値が大きすぎるとき – [表示サイズ]の設定値が大きすぎるとき – [表示位置]を画面端部に設定しているとき – [優先表示領域]から離れすぎたとき
自動追尾設定画面に最新の状態が表示されない	アプリのWeb ブラウザーを再読み込みしてください。
アプリの動作が遅い ネットワーク配信映像がフレーム落ちする	- カメラ側の設定ページで、[システム] > [映像と音声] > [IP配信映像] > [メインストリーム] > [目標ビットレート (Mbps)] の設定を低くしてください。 - クライアントが同時に表示する映像表示画面の数を少なくしてください。
設定した領域よりも自動追尾の動作範囲が狭い 設定したい領域の画角までカメラが動かない	カメラ側の設定ページでカメラの可動範囲を設定しているか確認してください。

エラーメッセージ

画面にメッセージが表示されたときは、次のような対処をしてください。

メッセージ	対処方法
撮影範囲外の領域設定があります。 撮影範囲または範囲外の領域設定を変更してください。	設定した領域が設定可能な領域（P. 11）を超えた範囲で設定されている。撮影範囲を広げるか、撮影範囲以外の領域設定を変更する。
撮影範囲外に設定されています。	
領域設定に矛盾があります。 警告表示している設定を見直してください。	
領域が範囲外です。	カメラが表示できない領域が設定されている。[画角固定領域]の設定を変更する。
顔検出AFの設定を確認してください。	[顔検出AF]が無効になっている。カメラ側の設定ページで有効にする。
エラーが発生しました。カメラを再起動してください。	内部エラーが発生している。カメラ本体を再起動する。
カメラへの接続が最大クライアント数を超えているため、映像を表示できません。	- カメラに接続しているほかのクライアントを切断する。 - カメラ側の設定ページで、[システム] > [サーバー] > [HTTP/映像] > [映像サーバー] > [最大クライアント数]から接続できるクライアント数を増やす。
カメラに接続できませんでした。	カメラと接続できていない。カメラ本体の設定を確認する。カメラ本体を再起動する。
撮影データの再生中／転送中は操作できません。	撮影データの再生/転送の処理が完了してから操作する。
機能が制限されています。解除するには購入したライセンスまたはお試しライセンスの認証が必要です。	自動追尾アプリケーション(Lite) を使用している。制限を解除する場合は、本アプリケーションのライセンスをご購入の上、ライセンス認証を行ってください。お試しでご利用になる際は、お試しライセンスで認証を行ってください。お試し期間内での利用が可能です。

商標文

- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。

第三者のソフトウェア

このカメラには、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。各モジュールのライセンス条件につきましては、自動追尾設定画面の  > [第三者のソフトウェアライセンス条件]からご確認ください。

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、お客様相談センターをご利用ください。

■ キヤノンお客様相談センター

0570-07-0032

平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号は0570から始まるナビダイヤルを利用しています。

※ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4268 におかけください。

■ キヤノン リモートカメラシステムホームページ

リモートカメラシステムホームページにも最新情報を掲載しておりますので、ご利用ください。

キヤノン リモートカメラシステム製品情報

canon.jp/remotecam

本書の内容は2026 年9 月現在です。本アプリケーションの仕様や本書の記載内容は、将来予告なく変更することがあります。